

アナリスト調査

# クラウドでの データ保護： 課題、技術、 要件

ABI Researchの知見

[cpl.thalesgroup.com](http://cpl.thalesgroup.com)

**THALES**  
Building a future we can all trust

## 概要

クラウドでのデータ保護は、容易なことではありません。企業は、脅威の最小化やコンプライアンス要件に関する課題に直面しており、それによってデータ保護が複雑で困難なものとなっています。最新のデータ保護ソリューションでは、マルチクラウドのサポート、さまざまなセキュリティ技術のオーケストレーション機能、自動化、拡張性のすべてを、統一された合理的な方法で提供できることが求められています。

## データ脅威とコンプライアンス問題

企業がクラウドでデータを保存および処理する際に直面する主な課題は、セキュリティとコンプライアンスに関連しています。アジア太平洋地域ではデータ侵害が多発する傾向にあり、他の地域と比較して、影響を受けた企業が多いという結果が示されています(31%に対して68%)。さらに、クラウドの設定ミスによる情報漏えいも、世界平均(3%)よりアジア太平洋地域(8%)の方が上回っています。これらを合わせると、データが侵害されるリスクはより大きいということになります。

コンプライアンス違反に対する罰則が非常に厳しいことも、この問題を深刻化させています。日本では最高100万米ドル(約1億5千万円)、オーストラリアでは220万米ドル、中国では750万米ドル、インドでは世界売上高の4%、シンガポールでは10%、さらに台湾、日本、フィリピン、ベトナムでは懲役刑につながる可能性のある刑事罰もあります。

クラウドベースのサーバーやデータベースの設定ミスによるリスク、クラウドの脆弱性にかかわる透明性の欠如、プロバイダーごとに異なるデータセキュリティポリシーによって、企業がクラウド環境でデータに対する脅威とコンプライアンスに効果的に対処することは困難になっています。これには、さらなる労力と、持続可能性へのさまざまなアプローチが求められ、企業が導入すべきデータセキュリティ管理の複雑さに拍車をかけています。

## データ保護のためのセキュリティ技術

データ脅威とコンプライアンスは、事業部門を問わず、オンプレミスかクラウドかにかかわらず、企業が直視しなければならない問題です。これらの問題に対処できる、プロプライエタリとオープンソースの両方のツールが数多く市場に出回っています。まず、暗号化技術は、転送中および保存中データを保護するために選択される主要なツールです。データの機密性と完全性を確保し、場所に関係なくデータの永続的なセキュリティエンベロープを提供します。

企業には、ファイル、アプリケーション、データベースなど、さまざまな暗号化の可能性が開かれています。また、トークン化やデータマスキングなど、データ保護に役立つ暗号化の派生技術もあります。しかし、暗号化だけでは十分ではありません。アクセス制御、鍵とシークレットの管理、ハードウェアセキュリ

ティモジュール(HSM)、アプリケーションプログラミングインターフェース(API)などの統合/相互運用性ツールなど、いくつかのサポートコンポーネントが必要です。また、これらの機能は、クラウドで行われる可能性のある単純なストレージからDevOps、アナリティクス、コンピューティングまで、さまざまなデータのユースケースに対応できる必要があります。

データ保護には、セキュリティを超えて、積極的なデータ管理も必要となります。つまり、検出および分類ツールを使用し、脅威インテリジェンスを活用し、ビジネスルールとセキュリティポリシーを使用して、保存データ、移動中データ、使用中データを問わず、クラウド環境内のデータを追跡します。これらは監査に使用できる記録を提供するために重要であり、最終的なコンプライアンス要件を大幅に簡素化できます。

## 複雑さの最小化

これらのツールの利用可能性と、その利用は別問題です。企業はその導入において別の課題に直面しており、ツールや機能が増えるほど、日々の管理はより複雑になります。しかし、データ保護は必ずしも複雑でコストのかかる取り組みであるとは限りません。拡張性と柔軟性を持ち、包括的なアプローチを提供し、簡素で効率的に使えるツールを利用することで、効果的に対処できます。

ハイブリッド導入やマルチクラウド導入に対応できるプラットフォームソリューションは第一の必須条件であり、場所を問わず、データを扱う単一の統一された方法を提供します。オーケストレーションはここでの重要な概念であり、さまざまな面で包括的なガバナンスと管理を可能にします。

さらに、自動化はもう1つの重要な属性であり、データの使用や移動に伴う日常の管理を大幅に簡素化できます。重要なのは、自動化はデータを管理するセキュリティポリシーやアクセス制御に適用するだけでなく、外部情報源からの変更(脅威インテリジェンスや規制の更新など)に応じてプラットフォームを更新するために活用すべきということです。

最後に、重要な側面として、データ保護ソリューションの実行可能性が重要です。柔軟性とは、企業の使用状況に応じて拡張および拡大できることだけでなく、デジタル環境の変化にも対応できることを意味します。たとえば、柔軟性には、量子耐性があること、機密コンピューティングプラットフォームに導入できること、クラウドベースのDevOpsプロセスで適切に使用できることなども含まれます。フューチャープルーフは実装が難しい概念ですが、データ保護の長期的な実現可能性は、セキュリティプラットフォームとクラウドプロバイダーが将来の課題に適時に備えられる能力に大きく依存していることを、企業は認識する必要があります。



## ABI Researchについて

ABI Research は、世界中のテクノロジーリーダー、イノベーター、意思決定者に実用的な調査と戦略的ガイダンスを提供するグローバルテクノロジーインテリジェンス企業です。当社の調査は、今日の産業、経済、労働力を劇的に変化させつつある変革的なテクノロジーに焦点を当てています。

## タレスについて

今日の企業は、決定的な意思決定を行うために、クラウド、データ、ソフトウェアに依存しています。そのため、世界で評判の高いブランドや最大手の組織は、クラウドやデータセンターからデバイス、ネットワーク全体に至るまで、作成、共有、保存場所を問わず機密情報やソフトウェアを保護し、それらへのアクセスを安全に確保するために、タレスに信頼を寄せています。当社のソリューションは、企業がクラウドに安全に移行し、自信を持ってコンプライアンスを達成し、何百万人もの消費者が毎日利用するデバイスやサービスにおいて、ソフトウェアからより大きな価値を生み出すことを可能にします。

© 2023 ABI Research. ABI Researchの許可を得て配布。知見: クラウドでのデータ保護: 課題、技術、要件: 2023年11月。

© 2023 ABI Research. 許可を得て使用。免責事項: ABIの成果物の参照、転載、再発行の許可は、特定の企業、製品、戦略を明示的に推奨するものではありません。ABI Researchは、市場分析や知見を提供する独立系制作会社であり、このABI Researchの成果物は、データ収集時のABI Researchスタッフによる客観的な調査の結果です。ここに記載されている情報は、信頼できると見なされる情報源から入手したものです。ABI Researchは、本調査に関して、明示または黙示を問わず、商品性または特定目的への適合性の保証を含め、一切の保証を放棄するものとします。

[cpl.thalesgroup.com](http://cpl.thalesgroup.com)



**お問い合わせ先** - Email: [cpl.jp.sales@thalesgroup.com](mailto:cpl.jp.sales@thalesgroup.com)

すべてのオフィスの所在地と連絡先情報につきましては、[cpl.thalesgroup.com/ja/contact-us](http://cpl.thalesgroup.com/ja/contact-us)をご覧ください。